

広島県告示第623号

瀬戸内海環境保全特別措置法（昭和48年法律第110号）第5条第1項の規定による特定施設の設置許可の申請があったので、同条第4項の規定によって、その概要を次のとおり告示する。

平成26年9月29日

広島県知事 湯 崎 英 彦

1 申請者の住所及び氏名並びに工場又は事業場の所在地及び名称

申請者の住所及び氏名	大阪府大阪市北区梅田三丁目4番5号 株式会社ダイセル 代表取締役社長 札場 操
工場又は事業場の所在地及び名称	大竹市東栄二丁目1番4号 株式会社ダイセル大竹工場

2 申請の内容

33 イ 合成樹脂製造業の用に供する縮合反応施設4基を廃止し、4基を新設する。33 ニ 合成樹脂製造業の用に供する静置分離器1基を新設する。37 ロ 石油化学工業の用に供する分離施設1基を廃止し、1基を新設する。37 タ 石油化学工業の用に供する廃ガス洗浄施設1基を廃止し、2基を新設する。63の3 石炭を燃料とする火力発電施設の用に供する廃ガス洗浄施設1基を新設する。また、37 ロ 石油化学工業の用に供する分離施設2基の使用の方法を変更する。

(1) 特定施設の種類、能力及び使用の方法

- (その1) 33 イ 合成樹脂製造業の用に供する縮合反応施設 4基 廃止
- (その2) 37 ロ 石油化学工業の用に供する分離施設 1基 廃止
- (その3) 37 タ 石油化学工業の用に供する廃ガス洗浄施設 1基 廃止
- (その4) 新設

種	類	33 イ 合成樹脂製造業の用に供する縮合反応施設 4基 (OCA製造施設OCA-27~30 (OC-R-10-13~16D系列酢化機))	33 ニ 合成樹脂製造業の用に供する静置分離器 1基 (OCA-31(O2Cハイブレイティングスクリーン/B))
---	---	---	--

能		力		6.5m ³ (機内容量)	排水量1,300m ³ /日		
工期等	工事着手予定年月日		許可後直ちに		許可後直ちに		
	工事完成予定年月日		着手後30日		着手後30日		
	使用開始予定年月日		完成後1日		完成後1日		
使用の方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		0時から24時 連続24時間 (季節的変動なし)		0時から24時 連続24時間 (季節的変動なし)		
	排出される 汚水等の状態	項 目		通常	最大	通常	最大
		水素イオン濃度 (単位: 水素指数)		—	—	2	2
		化学的酸素要求量	(単位: mg/L)	—	—	14,400	15,840
		浮遊物質質量		—	—	200	500
		窒素含有量		—	—	18	48
	燐含有量	—		—	46	51	
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)		—	—	—	—		
汚水等の排出先		排水は生じない		溶剤回収塔			

(その5) 新設

種		類		37 ロ 石油化学工業の用に供する分離施設 1基 (エポキシ化動植物油製造施設Z-32 (J-880))	37 タ 石油化学工業の用に供する廃ガス洗 浄施設 2基 (入出荷施設T-1501, T-1502 (スクラバー))		
能		力		排水量11.0m ³ /日	排水量6.0m ³ /日		
工期等	工事着手予定年月日		許可後直ちに		許可後直ちに		
	工事完成予定年月日		着手後30日		着手後30日		
	使用開始予定年月日		完成後1日		完成後1日		
使用の方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		0時から24時 連続24時間 (季節的変動なし)		8時から17時 4時間 (不連続) (季節的変動なし)		
	排出される 汚水等の状態	項 目		通常	最大	通常	最大
		水素イオン濃度 (単位: 水素指数)		7	7	7	5
		化学的酸素要求量	(単位: mg/L)	23	23	30	30
		浮遊物質質量		5	10	1	1
窒素含有量	0.0	0.0		0.0	0.0		
燐含有量	0.0	0.0		0.0	0.0		

	燐含有量	0.5	1.0	0.5	2.0
	ノルマルヘキサン 抽出物質含有量	—	—	0.1	1.0
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)	11.0	11.0	6.0	6.0
	汚水等の排出先	第二中和槽		第二排水口	

(その6) 新設

種	63の3 石炭を燃料とする火力発電施設の用に供する廃ガス洗浄施設 1基 (7号ボイラー (7B排煙脱硫装置))			
能	排ガス処理量5,808,000Nm ³ /日			
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに		
	工事完成予定年月日	着手後12ヶ月		
	使用開始予定年月日	完成後1日		
使用の方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		0時から24時 連続24時間 (季節的変動なし)	
	排出される 汚水等の状態	項目	通常	最大
		水素イオン濃度 (単位: 水素指数)	6	9
		化学的酸素要求量	40	47
		浮遊物質	300	400
		窒素含有量	2	7
	燐含有量	1.4	5	
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)		365.0	365.0	
汚水等の排出先		第二排水口		

(その7) 変更

		変更前	変更後
種	類	37 ロ 石油化学工業の用に供する分離施設 (880))	1基 (エポキシド製造実験設備 (X-20 (K-880)))
工	工事着手予定年月日	既設	許可後直ちに

期等	工事完成予定年月日				許可後直ちに	
	使用開始予定年月日				許可後直ちに	
使用の方法	排出される汚水等の状態	項 目	通 常	最 大	通 常	最 大
		化学的酸素要求量 (単位: mg/L)	871	1,067	6,000	6,000

(その8) 変更

		変 更 前		変 更 後		
種 類		37 ロ 石油化学工業の用に供する分離施設 1基 (OAR製造施設 (OAR-1 (OR-D-016/溶剤回収塔)))				
工期等	工事着手予定年月日	既設		許可後直ちに		
	工事完成予定年月日			許可後直ちに		
	使用開始予定年月日			許可後直ちに		
使用の方法	排出される汚水等の状態	項 目	通 常	最 大	通 常	最 大
		化学的酸素要求量 (単位: mg/L)	866.5	1,100.0	920.0	1,100.0

(2) 汚水等の処理の方法

(その1) 変更

		変 更 前				変 更 後				
種 類		第二中和槽								
工期等	工事着手予定年月日	既設				許可後直ちに				
	工事完成予定年月日					着手後直ちに				
	使用開始予定年月日					完成後直ちに				
使用の方	処理前処理後の汚水等の汚染状態	項 目	処 理 前		処 理 後		処 理 前		処 理 後	
			通 常	最 大	通 常	最 大	通 常	最 大	通 常	最 大
		化学的酸素要求量 (単位: mg/L)	74	200	74	200	62	176	62	176
燐 含 有 量	4.5	109.5	4.5	109.5	4.5	109.3	4.5	109.3		

法	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)	1,499.3	1,575.6	1,499.3	1,575.6	1,500.9	1,577.2	1,500.9	1,577.2
---	--	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

(その2) 変更

		変 更 前				変 更 後					
種	類	第三中和槽									
能	力	2,100m ³ /日				2,200m ³ /日					
工期等	工事着手予定年月日	既設				許可後直ちに					
	工事完成予定年月日					着手後直ちに					
	使用開始予定年月日					完成後直ちに					
使用の方法	処理前処理後の汚水等の汚染状態	項 目		処 理 前		処 理 後		処 理 前		処 理 後	
		通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大		
		化学的酸素要求量	(単位：mg/L)	2,406	2,481	2,406	2,481	2,602	2,673	2,602	2,673
		窒素含有量		182	426	182	426	172	404	172	404
	磷含有量		0.6	2.7	0.6	2.7	0.8	3.9	0.8	3.9	
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)	1,824.4	2,054.4	1,824.4	2,054.4	1,931.8	2,172.6	1,931.8	2,172.6		

(その3) 変更

		変 更 前				変 更 後					
種	類	第四排水処理施設									
工期等	工事着手予定年月日	既設				許可後直ちに					
	工事完成予定年月日					着手後直ちに					
	使用開始予定年月日					完成後直ちに					
使用の方法	処理前処理後の汚水等の汚染状態	項 目		処 理 前		処 理 後		処 理 前		処 理 後	
		通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大		
		化学的酸素要求量	(単位：mg/L)	1,892	2,038	202.7	337.6	2,048	2,189	219.4	362.6
		窒素含有量		214	513	86.7	200.1	206	494	83.4	192.7
	磷含有量		0.5	2.4	0.2	1.0	0.7	3.2	0.2	1.3	
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)	2,739.2	2,997.5	2,739.2	2,997.5	2,846.6	3,155.7	2,846.6	3,115.7		

(その4) 変更

		変更前				変更後					
種 類		第五排水処理施設									
工期等	工事着手予定年月日	既設				許可後直ちに					
	工事完成予定年月日					着手後直ちに					
	使用開始予定年月日					完成後直ちに					
使用の方法	処理前処理後の汚水等の汚染状態	項 目		処 理 前		処 理 後		処 理 前		処 理 後	
				通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
		化学的酸素要求量	(単位: mg/L)	863.1	1,095.7	190.7	310.1	916.4	1,095.7	202.5	310.1

(その5) 変更

		変更前				変更後					
種 類		第六排水処理施設 リン処理設備									
工期等	工事着手予定年月日	既設				許可後直ちに					
	工事完成予定年月日					着手後直ちに					
	使用開始予定年月日					完成後直ちに					
使用の方法	処理前処理後の汚水等の汚染状態	項 目		処 理 前		処 理 後		処 理 前		処 理 後	
				通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
		化学的酸素要求量	(単位: mg/L)	158.3	257.8	158.3	257.8	168.9	264.2	168.9	264.2
		窒素含有量		33.9	113.8	33.9	113.8	33.1	111.9	33.1	111.9
		燐含有量		44.8	160.8	10	145	44.8	160.9	10	145

(3) 排出水の汚染状態

変更なし

3 事前評価に関する事項を記載した書面の縦覧期間及び縦覧場所

(1) 縦覧期間

平成26年9月29日から平成26年10月20日まで

(2) 縦覧場所

広島県環境県民局環境保全課及び広島県西部厚生環境事務所環境管理課並びに大竹市都市環境部環境整備課